

Noema Noesis

軌道



声
で
辿
る、

ハンガリー出身彫刻家

ワグナー・ナンドール
の世界

没後二〇年記念コンサート

合唱 Noema Noesis 指揮 堅田優衣

2017年10月9日（月・祝）開演14：00（開場13：30）

東京オペラシティリサイタルホール

〔入場料〕 一般2000円/学生1500円/当日2500円（全席自由）

〔チケットご予約〕 <https://tiget.net/events/14040>



お問い合わせ

noemanoesis2014@gmail.com

*メールでもチケットご予約承ります。

Program



第1部はワグナー・ナンドールの人生を、
第2部は代表作『哲学の庭』をテーマと
した作品を演奏します。

Kodály Szép könyörgés
コダーイ 心からの嘆願

Orbán Cor Mundum
オルバーン 清らかな心

Papoulis Kolenna sawa
パプーラ 私たちは共に

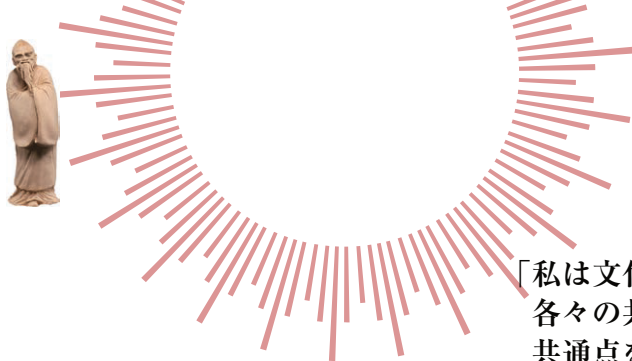
武満徹 さくら

堅田優衣 新作初演

他



『哲学の庭』（撮影：乾 剛）



彫刻×合唱

視覚と聴覚のコラボレーション！



「私は文化、宗教などの相違点よりも
各々の共通点を探しているのです。
共通点を通してしか
お互いに近づくことは出来ないのです。」



彫刻家 ワグナー・ナンドール



ワグナー・ナンドール（和久奈 南都留）は1922年生まれ、ハンガリー出身の彫刻家。ハンガリーでは日本と同じく姓が先、名前を後に表記する。ブダペスト芸術大学で彫刻を専攻し、戦後彫刻家として活躍。ハンガリー革命で文化人代表に選ばれ、スウェーデンに亡命し、制作活動を続けた。1969年、妻と共に日本に移り栃木県益子町にアトリエを建設し1975年、日本に帰化した。栃木県立美術館への「母子像」他、約200点の彫刻、絵画作品を制作し1997年76才で永眠。益子町で春、秋各一か月間ワグナー作品の美術展を開催している。

合唱 Noema Noesis

ノエマ ノエシス



全日本合唱連盟主催JCAユースクワイアの第3回（2014年3月）において、アシスタントコンダクターを務めた堅田優衣の呼びかけにより結成。新たな合唱の可能性を開拓すべく短期間で高度な音楽を作り上げるスタイルで活動する。実験的な試みに加えて、そこにメッセージ性のある、もう一度聞きたい音楽を目指す。これまでに東京、京都、兵庫、福岡にて演奏会を開催。第32回宝塚国際室内合唱コンクール（ルネサンスバロック部門）銅賞受賞。

HP <http://nn2014.wixsite.com/noemanoesis>

指揮 堅田優衣



桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科・研究科修了。2015年フィンランド・シベリウスアカデミー合唱指揮科修士課程を修了。2014年Noema Noesisを発足、現在芸術監督・指揮者を務めている。2016年女声合唱団pneumaを設立。「志士のうた」、「Ave Maria」「UPOPO」、また「樋口一葉日記～書いて、生きる」を出版。これまでに合唱指揮を大谷研二、マッティ・ヒュエッキ、ニルス・シュベッケンディークの各氏に師事。サボー・デーネシュ、サイモン・キャリントン等の合唱指揮マスタークラス修了。

後援 公益財団法人ワグナー・ナンドール記念財団

公益財団法人ワグナー・ナンドール記念財団の前身、財団法人タオ世界文化発展研究所は、1987年ワグナー夫妻により益子町に設立された。この財団は「学んだ知識を基礎として、世界の平和と言う目的達成のため、日常生活の各分野で広く人々の幸せのために役に立つ人間を育成する」という、ワグナー・ナンドールの理念を後世に伝えるために、美術館事業をはじめ、芸術文化活動の振興及び助成を行う活動をし、今秋30周年を迎える。



Access

東京オペラシティリサイタルホール
[東京オペラシティタワーB1F]

<https://www.operacity.jp>

〒163-1407

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号

京王新線初台駅東口下車 徒歩5分以内
(東京オペラシティビル直結)

